

## 渋澤栄一の見解を考慮に入れた、日本の教育の問題点

### 日本の教育の実情

- 現在の日本の教育システムは、すべての学生を平等に取り扱い、同じ目標に向かわせている為、才能のある人間がその才能を伸ばすことが困難な状況にある。
- 加えて、同調圧力の強い日本では、傑出した人物が生まれにくい。
- 道徳的側面が重視されていないため、人としてあるべき姿を考える機会が与えられていない。

### 日本の危機

- 地政学的問題、低い食料・資源の自給率、目先の大衆迎合の政策を乱発する政治家、日本はまさに危機に瀕している。
- 今切実に求められているのは、無私で、国家に尽くすことのできる政治家やリーダー

### 歴史的な成功事例

- 幕末に輩出して、日本の危機を救った傑出した人物たちが何故生まれたのか。今こそ日本はこの歴史的な成功事例を学ぶべきである。

(参考)

江戸時代の教育 (P190)

- 武士や上流の百姓町人は、青年時代に中国古典の教育を受けて、儒学を学ぶ。
- 百姓家町人は、身近でわかりやすい文章の習得や加減乗除の九九を学ぶ。

### 渋澤栄一の見解へのコメント

しかしながら、渋澤栄一の見解は、江戸時代以来の身分制度に立脚している部分がある。機会の平等は確保されるべき。入口は広くして、その中で個々の特性にあった、教育が用意されていることが望ましい。